



浦島伝説

ファイト!

合唱コンクールで3年全体合唱『fight』の歌声がマリノウェーブに響き渡りました。

そして、それと同名の歌が最近よくテレビのCMで流れています。中島みゆきさんの『ファイト』で、30年ほど前の歌です。

実はこの歌、あるラジオ番組に寄せられた手紙がきっかけで作られたそうです。経済的な理由で高校に行けず、必死に働いていたけれど、ことあるごとに「中卒だから」と言われ、辛い目をしたという内容でした。

中島さんは、この歌を通して「学歴なんて関係ない。大事なのは自分自身だ」というメッセージを伝えたかったのでしょう。

さて、3年生は、私立高校の受験が終わり、2月6日には公立高校の自己推薦入試があります。人生で初めて迎える進路選択だけに、いろいろ悩むこともあると思いますが、大切なのは自分自身の気持ちの持ちようです。2階の廊下に掲示されている「他の誰かと比べて得た自信はもろい」という言葉からも、ライバルは自分自身であることがわかります。

また、1・2年生は、1月31日に行われる校内マラソン大会に向けて、体力と精神力を鍛える一方で、2月14日に行われる学習の診断に向けて、学力の習得にも全力を注がなければなりません。

今こそ、頑張るときです。「ファイト!」と気持ちを奮い立たせてください。闘う相手は自分自身です。

「クラスマッチ」に思う

最近、「クラスマッチ」という言葉をあまり聞かなくなりました。以前は、どこの中学校でも、バレーボール大会、バスケットボール大会、マラソン大会などのクラスマッチが行われていましたが、週5日制になり、授業時数確保などの理由から行事がだんだん減ってきたからでしょう。本校では、体育祭や合唱コンクールが学級対抗戦として行われており、クラスが一つになって戦う姿は微笑ましく見えます。

クラスマッチは、クラス全員が同じ目標に向かって頑張ろうとすることができる行事であり、チームの一員としての自覚や責任を実感することを通して、集団生活の大切さを学ぶことができます。自分一人では、「えらいなあ」「いやだなあ」と思うことでも、クラスのために「ちょっと頑張ってみるか」という気持ちになることもあるでしょう。そして、少しでもクラスのために役に立ったとき、「自己存在感」「自尊感情」というものが育ってきます。「イ〜なカード」は、まさにそれを実感するチャンスなのです。

そして、今年、1・2年生のマラソン大会がクラスマッチ形式で行われることになりました。たとえ遅くても、クラスのために、自分のために、一生懸命頑張る姿を見せてください。

ところで、3年生。実は、「高校入試」もクラスマッチです。「入試は団体戦」という言葉もよく耳にします。“合格”という目標に向かって、クラス全員が頑張ろうとするところが同じだからです。不安な気持ちになったとき、一緒に頑張る仲間の姿に勇気をももらうこともあるでしょう。だからこそ、クラスみんなで学習する雰囲気を作り上げていってください。



校内マラソン大会 平成25年1月31日(木)

◆1年生 …… 1校時 女子スタート → 8:45 男子スタート → 9:00

◆2年生 …… 2校時 女子スタート → 9:45 男子スタート → 10:00

※ 雨天時は、2月1日(金)に順延します。その場合、1年生は2校時、2年生は3校時になります。

暗い水の流りに打たれながら 魚たちのぼってゆく
光ってるのは 傷ついて はがれかけた鱗が揺れるから
いっそ水の流りに身を任せ 流れ落ちてしまえば楽なのにね
やせこけて そんなにやせこけて 魚たちのぼってゆく
勝つか負けるかそれはわからない それでもとにかく闘いの
出場通知を抱きしめて あいつは海になりました

ファイト! 闘う君の唄を 闘わない奴等が笑うだろう
ファイト! 冷たい水の中を ふるえながらのぼってゆけ

ああ 小魚たちの群れきらきらと 海の中の国境を越えてゆく
諦めという名の鎖を 身をよじってほどいてゆく

ファイト! 闘う君の唄を 闘わない奴等が笑うだろう
ファイト! 冷たい水の中を ふるえながらのぼってゆけ

(※『ファイト!』の歌詞の一部のみ掲載)